#### <フットケア記録用紙使用についてのお願い>

1. 臨床での使用について この記録用紙は糖尿病合併症管理料算定の留意事項に記載されている「糖尿病足病変 ハイリスク要因に関する評価結果、指導記録及び実施した指導内容に関する記録」を するために作成した標準フォーマットです。糖尿病患者のフットケアの実施記録として臨床で活用してください。記録の質を確保するために原則として改変はしないでください。電子カルテ内に取り込む場合も改変せず、「20130620(社)日本糖尿病教育・看護学会編」と出典を明記してください。

また、今後学会としてデータを集積して評価することを計画しているので、その際に はぜ ひご協力ください。

- 2. 研究での使用について 看護研究に活用する場合は、論文に出典を明記してください。
- 3. 転載について 出版物として一部あるいはすべてを転載する場合は、本学会の許諾を得てください。

(社) 日本糖尿病教育·看護学会

## I 糖尿病足病変のハイリスク評価

1.		載日	年 月 日
2.			足病変のハイリスク要因の把握
			る場合は、□にチェックする 未評価・調べていない場合はチェックしない
	1)		<b>有変既往</b>
			足潰瘍歴 有 足趾・下肢切断歴 有
	2)		
	_,		
		_	両側性の自覚症状(しびれ・疼痛・異常感覚)有
			SWM 5.07 以上の感知不能
			両アキレス腱反射の消失 有
			両内踝振動覚 (C-128 音叉) 10 秒以下
	3)	血流	<b>流障害</b>
			PAD の診断 有
			両足背・両後脛骨動脈触知異常(減弱 不能) 有
			ABI 0.9 以下 検査値を ( ) に記入 右 (
		_	間歇性跛行 有
			冷感(自覚・他覚)有
	4)		引状態 - Martin Artina BB BE No. 10
			歩行・姿勢状態に問題あり
			血糖コントロール不良 HbA <sub>1c</sub> ( ) % 栄養状態不良 血清 TP ( ) g/dL 血清 Alb ( ) g/dL
			不養
			腎機能低下 あるいは透析療法中 血清 BUN ( ) mg/dL 血清 Cr ( ) mg/dL
			視力障害
			運動機能障害
			認知症
	5)	セル	レフケア状況
			サポートパーソン 無
			サポートパーソンがある場合は具体的に書く (
			フットケア教育 無
			リスクを伴う足の手入れ 有 (深爪、剃刀・軽石の使用、湯たんぽ・携帯カイロの使用)
	6)		<b>舌状況</b>
			独居
			高齢(75歳以上)
			リスクとなる靴を履く仕事や趣味 有 足の圧迫やずれを増す生活状況 有
			足の圧起やすれを増す生活が洗 有 足の血流障害を起こしやすい生活状況 有(長時間立位・座位、寒暖差、気候)
			足の清潔を保ちづらい生活状況有
			外傷・熱傷などの危険が及びやすい生活状況有
			The man of the state of the sta
3.	糖	<b>汞病</b>	足病変のハイリスク要因
	2.	Ø 1	)~6)のチェックをふまえて以下に○をする (下記 1)~3)の該当者が糖尿病合併症管理料算定対象)
	1)	潰瘍	・切断の既往のある足 2) 神経障害のある足 3) PAD の足
	4)	全身	状態 5) セルフケア状況 6) 生活状況

# Ⅱ 予防的フットケア 初回時の記録用紙

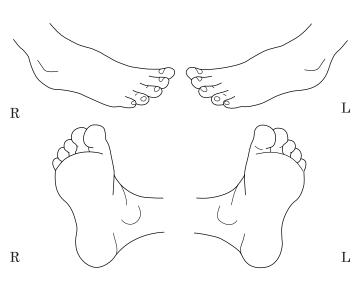
**1. 実施日** 年 月 日

**2. 時間** 時 分 ~ 時 分 (30 分かけたことがわかるように)

**3. 担当者** \_\_\_\_\_ (厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして 地方社会保険事務局長に届け出た看護師が実施したことがわかるように)

#### 4. アセスメント

1)皮膚や爪のアセスメント			<患者の反応>
①発赤 (有・無)/R (	)/L (	)	*どのように自分の足を捉えてい
②乾燥 (有·無)/R (	)/L (	)	るのか、トラブルへの心配などの
③掻痒感 (有・無)/R (	)/L (	)	表現、家での手入れの状況などの 反応を捉えて記述
④足白癬 (有・無)/R (	)/L (	)	火心を捉えて記述
⑤爪白癬 (有・無)/R (	)/L (	)	
⑥爪肥厚 (有・無)/R (	)/L (	)	
⑦陥入爪 (有・無)/R (	)/L (	)	
⑧皮膚剥離 (有・無)/R (	)/L (	)	
⑨胼胝 (有・無)/R (	)/L (	)	
⑩鶏眼 (有・無) / R (	)/L (	)	
①水疱 (有・無)/R (	)/L (	)	
⑫湿疹 (有・無)/R (	)/L (	)	
③外傷 (有・無)/R (	)/L (	)	
⑭潰瘍 (有・無)∕R (	)/L (	)	
⑤壊疽 (有・無)/R (	)/L (	)	
⑯足趾・下肢切断 (有・無)/R (	)/L (	)	



日本糖尿病教育‧看護学会編 改編‧転載禁

#### Ⅱ 予防的フットケア 初回時の記録用紙

2) 知覚のアセスメント 明瞭でない場合は記載	<患者の反応>
①触覚(筆)足趾	
R (分かる・分からない)/L (分かる・分からない)	
②痛覚(竹串)足趾	
R (分かる・分からない)/L (分かる・分からない)	
③触圧覚(SWM 5.07)	
●足趾 (第1・第5足趾)	
R (分かる・分からない)/L (分かる・分からない)	
●足底(第1・第5中足骨)	
R (分かる・分からない)/L (分かる・分からない)	
④両足趾および足底のしびれ:(有・無)	
R ( )/L ( )	
⑤両足趾および足底の異常感覚:(有・無)	
R ( )/L ( )	
⑥⑥両足趾および足底の疼痛: (有・無)	
R ( )/L ( )	
⑦両アキレス腱反射 (膝立位) (増強法で反射がある場合は低下)	
R (消失・低下・正常)/L (消失・低下・正常)	
⑧両内踝振動覚(C-128 Hz 音叉)	
R (秒)/L (秒)	
3) 足の変形のアセスメント	<患者の反応>
①ハンマートゥ (槌趾):(有・無)/部位	
②クロウトゥ (鷲爪趾): (有・無)/部位	
③外反母趾: (有·無) R ( )/L ( )	
<ul><li>④内反小趾: (有・無) R ( )/L ( )</li></ul>	
5開張足: (有·無)	
⑥扁平足:(有·無)	
⑦ハイアーチ (甲高): (有・無)	
⑧シャルコー関節: (有・無)	
4) 血流のアセスメント	<患者の反応>
①両足背動脈触知	
R:良好·減弱·不能/L:良好·減弱·不能	
R・良好・減弱・小能/L・良好・減弱・小能 左右差の 有 無	
②両後脛骨動脈触知	
②阿核脛骨動脈腫和 R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能	
左右差の有 無 ③ドップラー:R( )/L( )	
③トッノフー・R ( )/L ( )/C (	
(4) (年 ) (日	
⑥間歇性跛行:(有・無)	
⑦安静時疼痛:(有・無) R ( ) / L ( ) / L ( ) / L (	
⑧浮腫: (有・無) R ( )/L ( ) ②日下垂時のみ・畑・(左・畑) B ( )/L ( )	
<ul><li>⑨足下垂時のうっ血: (有・無) R ( ) / L ( )</li></ul>	
⑩足挙上時の皮膚色調の蒼白: (有・無)	
$R \left( \right) / L \left( \right)$	
①足の脱毛: (有・無) R ( )/L ( )	
②皮膚の光沢 (有・無) R ( ) / L ( )	
	日本糖尿病教育・看護学会編 改編・転載禁

#### Ⅱ 予防的フットケア 初回時の記録用紙

4) 血流のアセスメント	<患者の反応>
③喫煙(有: 本/日・無)	
5) 靴・靴下のアセスメント	<患者の反応>
<ul> <li>①日常生活でよく履く靴</li> <li>●種類: 革靴・スニーカー・サンダル・スリッパ</li> <li>●素材: 合成皮革・天然皮革・ビニール・ナイロン 硬い・軟らかい</li> <li>●靴のサイズ: 大きい・小さい・幅が狭い・幅が広い</li> <li>●爪先の形状: 尖った形・丸い形</li> <li>●ヒールの高さ:5cm 以上・5cm 未満</li> <li>●靴底のクッション性:良い・普通・悪い</li> </ul>	
●靴ひもの有無:靴ひも・マジックテープ ②履物を履いている1日の時間: 時間 分 ③仕事で履いている靴: 安全靴・長靴・硬い素材の革靴・サンダル 他 ( ) ④靴購入時の選択基準:デザイン・価格・履き心地・機能性など ⑤靴購入時の試し履き:有・無 ⑥靴底の擦り減り状態:R ( )/L ( ) ⑦足と靴の適合性:良好・不良 ⑧裸足歩行の有無:有・無 ⑨靴下着用の有無:屋内・屋外	
①靴・装具の作成・調整:相談要・相談不必要 6) セルフケア状況 患者の経験や価値観をきき、右に記載	<患者の反応>
①これまでの足の手入れの方法 ②フットケアを行うことでの思い ③リスクを伴う足の手入れ(深爪、剃刀・軽石の使用、湯たんぽ・携帯カイロの使用):有・無	
7) アセスメント *足の状況と患者がどのように自分の足を (日頃の足の手入れや教育の体験)とを含めた	
※医師や他者からのコンサルテーションを受けた場合、内容	を記載する

156



# **Ⅲ** 必要なフットケアの内容と具体的な方法の計画

1. 計画立案日	年	月	H		
<b>2. 目標</b> □をチェック □ 足のトラブ			こ記載する		
・ □ 自分の足の: ·	伏態を理解する				
□ 足への関心:	が高まり、フッ	・トケアの必要	性が理解できる		
· □ 自分の足の: ·	<b>伏態に応じた</b> 手	<b>三入れを生活に</b>	取り入れることができ	3	
· 抽尿病の治 □ 糖尿病の治 :	寮継続ができる				
	びに ( )	1ヵ月に1回	( )3ヵ月に1[ ( )希望時	<b>J</b>	
2) ケア内容  □ 爪のケア □ 胼胝のケア □ 鶏眼のケア □ 白癬のケア □ 日癬のケア □ 保湿ケア □ 足浴 □ 他科へ受診 □ その他 (		)	( / 4D 至Py		
3) 教育内容	トラブルの関連 法 方法 方法		する		
<ul><li>4)評価時期</li><li>① 6 ヵ月後</li><li>② 1 年後</li><li>③ ( ) 後</li></ul>	:( 年	月 日頃) 月 日頃) 月 日頃)	日本糖尿病教	対育・看護学会編	改編・転載禁

#### Ⅲ必要なフットケアの内容と具体的な方法の計画

4.計画にもとづいたケア実施時の記録	*看護師が行ったケア内容と実施時の患者の反応を記述する

159

日本糖尿病教育·看護学会編 改編·転載禁



1.	実施日	3	年	月		E	1
2.	時間	時	分	~	時	分	(30 分かけたことがわかるように)
3.	担当者					-	る施設基準に適合しているものとして  長に届け出た看護師が実施したことがわかるように)
4.	(下記 1 1)	<ul><li>態 (糖尿病) ~3) の認 潰瘍の既往 全身状態</li></ul>	ぎ当者が のある	糖尿病台	) 併症管 2) 神経	理料 障害	無)該当する数字に○をする 算定対象) のある足 3)PAD の足 6)生活状況
5.	1) 2) 3) 4)	<b>アセスメン</b> 皮膚や爪の 知覚のアセ 足の変形の 血流のアセ 靴・靴下の	アセス スメン アセス スメン	メント ト メント ト	前回との	)比較	ξ
6	6. アセ	スメント					り入れられたのかどうか/足はどのようにケアによっ り捉え方で、変化がみられたと思われる反応
7.		の□有		めな方	去の修正	Eの <sup>2</sup>	有無とその内容
8	3. 計画	にもとづい	たケア	実施時	の記録	* !	ケア実施や教育時の患者の反応を記述する
  			 		·	  	

日本糖尿病教育·看護学会編 改編·転載禁



### 予防的フットケア 評価時の記録用紙

#### 評価時の記録用紙で足の状態を評価する

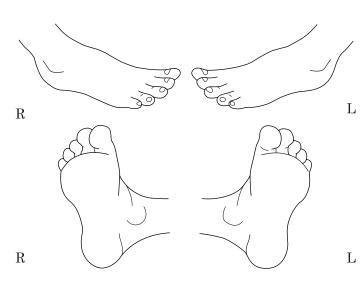
**1. 実施日** 年 月 日

**2. 時間** 時 分 ~ 時 分 (30 分かけたことがわかるように)

**3. 担当者** \_\_\_\_\_ (厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして 地方社会保険事務局長に届け出た看護師が実施したことがわかるように)

#### 4. アセスメント

①発赤 (有・無):R (	)/L ( )	*どのように自分の足を捉えてい
②乾燥 (有・無):R(	)/L ( )	るのか、トラブルへの心配などの
③掻痒感 (有・無):R (	)/L ( )	表現、家での手入れの状況などの   反応を捉えて記述
④足白癬 (有・無):R (	)/L ( )	火心を捉えて記述
⑤爪白癬 (有・無):R (	)/L ( )	
⑥爪肥厚 (有・無):R (	)/L ( )	
⑦陥入爪 (有・無):R (	)/L ( )	
⑧皮膚剥離 (有・無):R (	)/L ( )	
⑨胼胝 (有・無):R (	)/L ( )	
⑩鶏眼 (有・無):R (	)/L ( )	
⑪水疱 (有・無):R (	)/L ( )	
⑫湿疹 (有・無):R (	)/L ( )	
⑬外傷 (有・無):R (	)/L ( )	
⑭潰瘍 (有・無):R (	)/L ( )	
⑤壊疽(有・無):R(	)/L ( )	
16足趾・下肢切断 (有・無):R(	)/L ( )	



日本糖尿病教育·看護学会編 改編·転載禁

#### Ⅴ 予防的フットケア 評価時の記録用紙

2) 知覚のアセスメント 明瞭でない場合は記載	<患者の反応>
①触覚(筆)足趾	
R (分かる・分からない)/L (分かる・分からない)	
②痛覚(竹串)足趾	
R (分かる・分からない)/L (分かる・分からない)	
③触圧覚(SWM 5.07)	
●足趾(第1・第5足趾)	
R (分かる・分からない)/L (分かる・分からない)	
●足底(第1・第5中足骨)	
R (分かる・分からない)/L (分かる・分からない)	
④両足趾および足底のしびれ:(有・無)	
R ( ) /L ( )	
⑤両足趾および足底の異常感覚:(有・無)	
R ( ) /L ( )	
⑥両足趾および足底の疼痛:(有・無)	
R ( ) /L ( )	
⑦両アキレス腱反射 (膝立位) (増強法で反射がある場合は低下)	
R (消失・低下・正常)/L (消失・低下・正常)	
8 両内踝振動覚 (C-128 Hz 音叉)	
R (秒)/L (秒)	
3) 足の変形のアセスメント	<患者の反応>
①ハンマートウ (槌趾):(有・無)	
R ( ) /L ( )	
②クロウトウ (鷲爪趾): (有・無)	
R ( ) /L ( )	
③外反母趾: (有·無) R ( )/L ( )	
<ul><li>④内反小趾: (有・無) R ( )/L ( )</li></ul>	
⑤開張足:(有・無) R ( ) / L ( )	
⑥扁平足:(有・無) R ( )/L ( )	
⑦ハイアーチ (甲高):(有・無)	
R( )/L(	
⑧シャルコー関節:(有・無)	
R( )/L( )	
4) 血流のアセスメント	<患者の反応>
①両足背動脈触知	
①両足背動脈触知 R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能	
R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能	
R: 良好・減弱・不能 / L: 良好・減弱・不能 左右差の 有 無	
R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の 有 無 ②両後脛骨動脈触知	
R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の 有 無 ②両後脛骨動脈触知 R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能	
R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の 有 無 ②両後脛骨動脈触知 R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の有 無	
R: 良好・減弱・不能/L: 良好・減弱・不能 左右差の 有 無 ②両後脛骨動脈触知 R: 良好・減弱・不能/L: 良好・減弱・不能 左右差の有 無 ③ドップラー: R( )/L( )	
R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の 有 無 ②両後脛骨動脈触知 R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の有 無 ③ドップラー:R( )/L( ) ④冷感の自覚:(有・無)R( )/L( )	
R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の 有 無 ②両後脛骨動脈触知 R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の有 無 ③ドップラー:R( )/L( ) ④冷感の自覚:(有・無)R( )/L( )	
R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の 有 無 ②両後脛骨動脈触知 R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の有 無 ③ドップラー:R( )/L( ) ④冷感の自覚:(有・無)R( )/L( ) ⑤冷感の他覚:(有・無)R( )/L( )	
R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能左右差の有無 ②両後脛骨動脈触知 R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能左右差の有無 ③ドップラー:R( )/L( ) ④冷感の自覚:(有・無)R( )/L( ) ⑥冷感の他覚:(有・無)R( )/L( ) ⑥間歇性跛行:(有・無) ⑦安静時疼痛:(有・無)R( )/L( )	
R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の 有 無 ②両後脛骨動脈触知 R:良好・減弱・不能/L:良好・減弱・不能 左右差の有 無 ③ドップラー:R( )/L( ) ④冷感の自覚:(有・無)R( )/L( ) ⑤冷感の他覚:(有・無)R( )/L( )	

#### Ⅴ 予防的フットケア 評価時の記録用紙

4) 血流のアセスメント	<患者の反応>
⑩足挙上時の皮膚色調の蒼白:(有・無)	
R ( )/L ( )	
①足の脱毛:(有・無) R ( ) /L ( )	
②皮膚の光沢 (有・無) R ( ) / L ( )	
③喫煙(有: 本/日・無)	
5)靴・靴下のアセスメント	<患者の反応>
①日常生活でよく履く靴	
●種類:革靴・スニーカー・サンダル・スリッパ	
●素材:合成皮革・天然皮革・ビニール・ナイロン	
硬い・軟らかい ●靴のサイズ:大きい・小さい・幅が狭い・幅が広い	
<ul><li>● 爪先の形状: 尖った形・丸い形</li></ul>	
<ul><li>●ヒールの高さ:5 cm 以上・5 cm 未満</li></ul>	
● 靴底のクッション性: 良い・普通・悪い	
<ul><li>靴ひもの有無: 靴ひも・マジックテープ</li></ul>	
②履物を履いている1日の時間: 時間 分	
③仕事で履いている靴:	
安全靴・長靴・硬い素材の革靴・サンダル	
他(	
(4) 戦購入時の選択基準:デザイン・価格・履き心地・機能性など	
⑤靴購入時の試し履き:有・無    ⑥靴底の擦り減り状態:R (	
⑦足と靴の適合性:良好・不良	
⑧裸足歩行の有無:有・無	
⑨靴下着用の有無:屋内・屋外	
⑩靴・装具の作成・調整:相談要・相談不必要	
6) セルフケアの状況 患者の経験や価値観をきき、右に記載	<患者の反応>
①これまでの足の手入れの方法	
②フットケアを行うことでの思い	
③リスクを伴う足の手入れ (深爪、剃刀・軽石の使用、湯たんぽ・	
携帯カイロの使用):有・無	
7)全身状態	<患者の反応>
①歩行・姿勢状態に問題:有・無	
②血糖コントロール不良 HbAic ( ) %	
③栄養状態不良 血清 TP ( ) g/dL 血清 Alb ( ) g/dL	
④腎機能低下あるいは透析療法中 加速 PLIN( ) mg/dl 加速 Cr ( ) mg/dl	
血清 BUN( ) mg/dL 血清 Cr ( ) mg/dL ⑤視力障害:有・無	
⑥運動機能障害:有・無	
⑦認知症:有・無	
8) 生活状況	<患者の反応>
①独居:有・無	
②高齢 (75 歳以上):有・無	
③リスクとなる靴を履く仕事や趣味:有・無	
④足の圧迫やずれを増す生活状況:有・無	
	日本糖尿病教育·看護学会編 改編·転載禁

#### Ⅴ 予防的フットケア 評価時の記録用紙

8)生活状況		<患者の反応>
⑤足の血流障害を起こ	こしやすい生活状況(長時間立位・座位、寒	
暖差、気候):有・	••••	
	らい生活状況:有・無	
	<b>危険が及びやすい生活状況:有・無</b>	
9) アセスメント	* 足の状況と、患者がどのように自分の足を打 でろの手入れや教育の体験)とを含めたアセ	
5.6ヵ月~1年に	:1回 目標に準じた評価・計画の修正	
評価・計画の修正時	持の記録 *ケア実施や教育時の患者の反応な	<b>空記述する</b>
目標 足のトラブルを	を悪化させない	
ケアのプロセス 提信	<b>共したケアの内容</b>	
,	者の反応の変化 の状況変化	
目標の達成状況	700亿多16	
├ 目標 自分の足の状態		
ケアのプロセス 提信	供したケアの内容	
	者の反応の変化 の状況変化	
	の休优変化	
ケアのプロセス 提信	<b>共したケアの内容</b>	
	者の反応の変化	
	の状況変化	
		・
ケアのプロセス 提信		
,	者の反応の変化	
足の   目標の達成状況	の状況変化	
		·
ケアのプロセス 提信		
患者	者の反応の変化	
足の   目標の達成状況	の状況変化	
		・
日保 日牙の足の状況		. C ~
患者	者の反応の変化	
足の 目標の達成状況	の状況変化	
評価・計画の修正時	<b>寄の記録 *ケア実施や教育時の患者の反応を</b>	で記述9 る
<u>                                     </u>		
I		

日本糖尿病教育‧看護学会編 改編‧転載禁